お断り：　各地区に回覧される日は，発行日から，１週間前後遅れることがありますがご容赦願います。（校長）

# はなふじ

平成２８年１２月２０日
山形市立出羽小学校
学校だより　第９号
文責・発行　校長
遠藤光男

## 思い出に残る　修学旅行

１２月１日～２日の一泊二日で６年生の修学旅行を実施しました。
山形を出発するときは雨模様で心配されましたが、新幹線に乗って東京に近づくにつれて晴れてきました。皇居前についたときには青空も見えました。
国会開催中の国会議事堂では、参議院本会議場を見学しました。スカイツリーでは、見渡す限りの夜景の美しさに歓声を上げていました。お台場での班別行動では、みんな協力して安全に行動することができました。国立科学博物館では日本館と世界館を時間をかけてじっくり学習できました。

新幹線の乗り降りや人混みの中を歩くときは緊張した面持ちでしたが、全員参加して小学校生活の大きな思い出を作り、たくさんのおみやげを手や心に持って帰ってきました。
山形に帰ってきて、子どもたちは、寒さに驚いたようでした。夕方の時間帯にもかかわらず保護者の皆様にはお迎えに来ていただきありがとうございました。全員スムーズに帰宅できました。
修学旅行で学習してきたことをこれから生かしていきたいと思います。

## 通学路の安全確保に　ご協力下さい

雪が降り始めました。子どもたちは、冬の服装やくつで元気に登校しています。しかし、日陰になっているところなどでは雪が溶けにくくなっていたり溶けたところが氷になっていたりして大変危険です。
先日の降雪時には「跨線橋の所の電源が入っていなくて危なかったよ。」というお知らせもいただきました。さっそく管理者に連絡して対処していただきました。
学校ばかりでは目の届かないところがたくさんあります。危ないところがありましたらすぐにお知らせ下さい。また、お家の前だけでも結構ですので子どもの通学路の除雪をしていただくと大変ありがたいです。地域の方々のご協力をよろしくお願いいたします。

## 市理科研究発表会　優秀賞に　青山紗良さん

１１月３０日に山形市の理科研究発表会が行われました。
出羽小からも４名が参加し、自分の研究を発表してきました。
４年　半澤光琉　「雲を作ってみよう」
５年　奥山果音　「夏野菜の甘さ調べ③」
６年　青山紗良　「くもの巣研究」
６年　鏡　真央　「ガムをとかす食材は何か」
その結果、青山紗良さんの研究が優秀賞に選ばれました。おめでとうございます。

# ☆☆☆日頃のご指導に感謝☆☆☆

１１月２５日に日頃からご指導いただいている、畑の先生・交通指導員さん・トトロの会のみなさんをお招きして感謝の会をさせていただきました。みなさんのおかげでおいしい作物を作ったり、安全に登下校できたり、本に親しんだりすることができます。

先生方からは、紅花や交通安全で気をつけてほしいことのお話、読み聞かせのプレゼントがありました。これからもよろしくご指導下さい。

## もうすぐ年末年始休業　伝統を感じられる体験を！

１２月２３日（金）から１月５日（木）まで年末年始休業です。各地で年末年始の行事が行われることと思います。その行事のいわれや習慣の起こりなどについてご家族でお話ししてみてはどうでしょうか。

最近の子どもたちは、日本の伝統的なものについて意外と知らないものです。しかし海外では逆に日本の文化がすばらしいと注目されています。年末年始に日本の良さを感じてほしいものです。

# 子どもたちの情報機器についてご指導下さい

「ゲーム脳」という言葉をご存じでしょうか？最近話題になっています。

電子機器によるゲームや長時間画像を見ることによる障がいです。脳の前頭前野という思考力や人との関係づくりのために大切な働きをする部分が麻痺してしまうのだそうです。中にはゲームのやり過ぎで医師から入院させられた事例もあるほどです。

私たちは、「ゲームは楽しいから。」「ゲームや映像を見ていると静かだから。」などと考えて長い時間子どもたちがメディアに触れていても気にしないでしまいがちです。しかし、このことが子どもたちの発育に大きな影響を与えていることが分かってきたのです。

家庭にゲーム機が入ってきたのはまだ３０年ちょっとですがこの間に子どもたちの心にも体にも大きな問題が起き始めているのです。

子どもたちはまだ未熟です。自分で自分を制御できることがなかなか難しいのです。周りの大人がしっかり指導していきましょう。「怒るから。」とか「暴れるから。」などということに負けないで下さい。

全国の中学校では、携帯電話やゲーム機によるインターネット接続、ＳＮＳ（ソーシャルネットワークシステム）によるいじめなどが大きな問題となっています。しかし、これらの問題は中学校に行ってから指導したのでは遅いのです。小学校のうちから指導していきましょう。小学生・中学生には携帯電話やＳＮＳは必要ありません。子どもたちがパソコンやゲーム機で何をしているのか知っていますか？親が責任を持って指導していきましょう。買い与えているのは親です。